

[29] radix : 九州大学全学共通教育広報

<https://hdl.handle.net/2324/20394>

出版情報 : radix. 29, 2001-06-30. 九州大学教養部大学教育研究センター
バージョン :
権利関係 :

radix

radix (ラーディクス) は、根、
根源を意味するラテン語。ヒト
の根源にまなざしを向け、豊か
なこころの根を広げたい。

2001. 6. 30
九州大学全学教育広報 No. 29

人にやさしい村は地球にもやさしい 台湾少女漫画について

8

4



ツェルマット (4～7頁参照)



クワガタムシやカブトムシの雄の大アゴやツノの役割とその進化

あら や くに お
荒 谷 邦 雄

クワガタムシやカブトムシの雄には立派な大アゴ（牙）やツノがはえています。一方、雌にはそのような大アゴやツノの発達は見られません。クワガタムシやカブトムシの雌雄にはなぜこうした性差（性的二型）が見られるのでしょうか？

自然淘汰による適応的進化

すべての生物はそれぞれが生息している環境に適応して子孫を残しています。この生物の適応がどうやって進化してきたかを説明したのが、ダーウィンの自然淘汰説（自然選択説）です。

自然淘汰を、体の大きさという特徴を例にして少し具体的に説明してみましょう。生物の体の大きさには必ず個体ごとの「変異」がみられます。このとき、体が大きいものほど生存率が高く、資源をめぐる競争にも強くたくさんの子どもを残せたとします。これは、体を大きくする向きに「淘汰」がはたらいっていることを意味します。さらに、体の大きさが親から子どもへ「遺伝」するとします。そうすると、子どもの世代の体の大きさの平均値は親の世代のそれより大きいほうへ変化します。これが自然淘汰による適応的進化です。適応的進化とは、適応度の高い（つまり、よりよく生き残りより多くの子どもを残すような特徴をもつ）ものの子孫が集団の中に増えていくことと言い替えることができます。

性淘汰

もし、生物が自然淘汰によって環境によりよく適応するように進化してきているとすると、雄も雌も同じ形態になっていてもよさそうなものです。実際、外部形態では雌雄の区別がつかないような動物の仲間はたくさんいます。自然淘汰説を提唱したダーウィンは、クワガタムシの大アゴやカブトムシの大きなツノは、雌と交尾する機会を増やすはたらきをするので進化してきたと考えました。このような淘汰を特に性淘汰と呼びます。

雌雄の本質な違いは、それぞれがつくる配偶子の大きさの違い、すなわち雌は大きな配偶子＝卵をつくり、雄は小さな配偶子＝精子をつくることにあります。卵は細胞質に胚が発生するのに必要な栄養を蓄積しており、限られた数しかつくることができません。一方、精子は遺伝子以外のものはほとんどふくんでおらず、莫大な数をつくることができます。つまり、自分のつくりうる卵の数によって繁殖成功の上限が決まる雌に対して、多くの雌を授精するのに十分な精子をつくることのできる雄の繁殖成功は、授精した卵の数によって決まることになります。言い替えるならば、雄は交尾相手が増えるほど繁殖成功が増加する可能性があるわけです。そのため、雄はなるべく多くの雌と交尾しようとし、雌と交尾する機会をめぐって同性の個体と競争したり（同性内性淘汰）、雌に好まれるような形質を発達させたり（異性間性淘汰）します。こうして、性淘汰は雄により強くはたらくことになるのです。

多くのカブトムシやクワガタムシは、雌のやってくる樹液のする場所をめぐって雄同士が闘争し、勝ったものがその場所を訪れる雌との交尾を独占することができます。そして、大きなツノあるいは大あごをもった雄ほどこの闘争で有利になります。これらの種では、闘争に有利になるように、武器である大アゴやツノを発達させる強い同性内性淘汰が働いたと考えられます。

雄の大アゴやツノの多型

こうしてみるとクワガタムシの大アゴやカブトムシのツノは典型的な同性内性淘汰の産物であることがよくわかります。しかし、実際はそう単純ではありません。クワガタムシやカブトムシの雄をたくさん調べると、同種なのにずいぶん大アゴやツノの大きさや形に違いがあることがわかります。これは何を意味するのでしょうか？

条件依存戦略による多型

多くの場合、クワガタムシの大アゴやカブトムシの場合、雄の体サイズの変異は一山型の分布をしているのに対して（図1上），頭部のツノや大アゴの長さは二山型をしていて（図1下），その結果，体サイズと大アゴやツノの長さの関係は一本の直線にはならず，途中で変曲点のあるシグモイド型（S字型）になります（図2）。これは，「体の小さい雄は短い大アゴやツノを，大きいものは長い大アゴやツノを持ち，しかもその相関関係がある大きさのところで不連続に変わり，大きい個体は相対的により発達した大アゴやツノを持つようになっていく」ことを意味しています。昆虫の場合，成虫の体サイズが，幼虫期の栄養条件などによってばらつくことがよくあります。雄同士が雌をめぐる競争する場合，大きな雄ほど競争で有利となります。一方，小さな雄はまともに競争してもほとんど勝ち目がありません。むしろ小さな雄は競争するより，大きな雄の目を盗んでこそ泥的に交尾の機会をうかがったり，雌を求めて広い範囲を探索したりするほうがまだ「まし」だということになります。それで，蛹になるとき，大きな雄は競争のための武器である大アゴやツノをより大きくするのにたいして，小さな雄は大アゴやツノには投資をせず他の特徴（飛翔能力など）に投資するよう戦略を切り替えている（条件依存戦略）と考えられます。

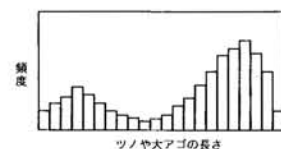
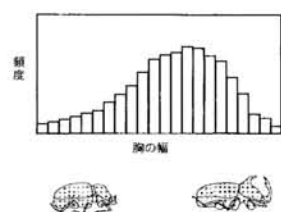


図1 体サイズとツノや大アゴの変異の模式図。体サイズの変異は一山型の分布を示す（上）。ツノや大アゴの長さは二山型の分布を示す（下）。

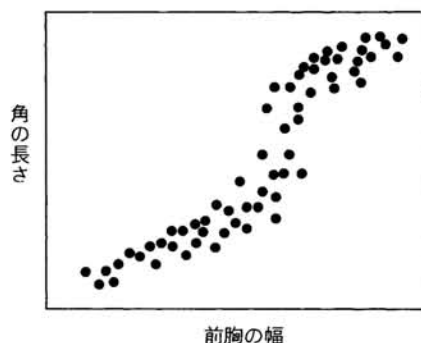


図2 体サイズとツノや大アゴの長さ関係の模式図。シグモイド型（S字型）になる。

頻度依存淘汰のもとでの平衡多型

熱帯アジア産のヒラタクワガタやツヤクワガタの仲間には雄の体サイズは同じなのに，長い大アゴをもつものと短い大アゴをもつものの不連続な二型が見られるものがあります（図3上）。また，雄の体サイズの変異のほぼ全体にわたって，大アゴの長さについて不連続な複数の型がある例も知られています（図3下）。

これら体サイズによらずに大アゴに不連続な多型がみられるクワガタムシの場合は条件依存の戦略の切り替えではなく，頻度依存淘汰のもとで適応度が等しくなるよう多型が維持される ESS（進化的に安定な戦略）可能性を考える必要があります。例えば，不連続な二型があったとします。そのときどちらかの型が増え過ぎるともう一方の減少した型のほうが有利になるということがあると，二つの型の適応度がちょうど等しくなる割合で二型が維持されることになります。競争をするとき，体サイズの差が大きいほど体の大きいほうの勝つ確率が増加し，体サイズの差が小さいほど競争にかかるコストが大きくなると仮定すると，体サイズの分布の ESS として不連続な多型（三型以上もふくむ）が出現しうることにも理論的に示されています。

実際のクワガタムシやカブトムシでは，環境条件依存の戦略の切り換えと頻度依存淘汰のもとでの進化的安定平衡状態の両方が複雑にからみあってそれぞれの種ごとの多様なパターンを生み出していると考えられ，今後の研究が期待されます。（比較社会文化研究院）

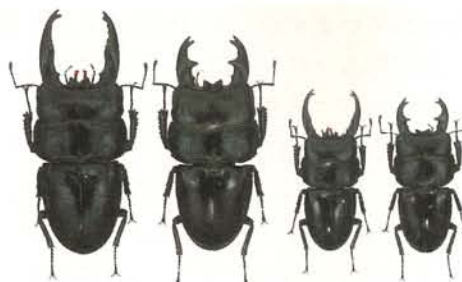
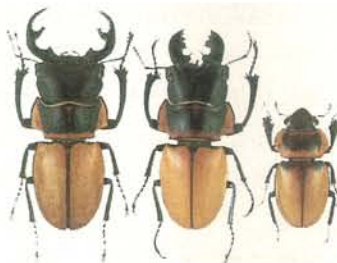


図3 頻度依存淘汰による多型の例。体サイズは同じなのに，長い大アゴをもつものと短い大アゴをもつものがあるムネモンツヤクワガタの雄（右端は♀）（上）。大きな雄にも小さな雄にも不連続な大アゴの多型があるアルケスヒラタクワガタ（下）。



人にやさしい村は地球にもやさしい

1974年工学部入学 ^{すすき} 薄 ^{しゅん} 俊 ^や 也

みなさん、ご無沙汰しています。前々回の radix—No.27「ドン・キホーテのごとくとも」の最後に触れていました昨年9月に訪問した「国から補助金を受けることなく開発と保存を調和させ、持続可能な発展を続けている」ツェルマット村の環境政策について、自治・財政・教育の観点からお話させていただきます。



ツェルマット（標高1,620m）はスイス連邦のヴァリス州に属し、面積は243.36km²、スイスで3番目に大きい自治体です。（福岡市の面積338.29km²）イタリア国境に近くマッターホルン（標高4,478m：右写真の三角形の山）の麓に位置し、年間3百万人の観光客が訪れています。ツェルマットは、カーフリー・リゾート（ガソリン等の燃焼燃料を使う車の乗り入れを禁止している保養地）で、ガソリン車で来た観光客は手前の駅テッシュで電車に乗り換えます。言語はスイスドイツ語が使われていますが、その他使われる言葉はスイスの公用語であるフランス語、イタリア語、ローマン語に英語が加わっています。

スイス連邦は、人口約710万人で、北海道の約半分の国土に3,000以上の自治体（ゲマインデ）があり、人口1万人以上の自治体（全体の約3%）を市、それ以下を村とよび、ツェルマットは、人口5,600人で村とよばれています。

今から7百年ほど前、ちょうどNHKの大河ドラマ「北条時宗」の時代に、スイスでは、神聖ローマ帝国

のハプスブルク公国の支配に対抗し、自由と内部秩序をまもるために、三つのアルプスの溪谷共同体が、同盟をむすびました（1291年8月1日）。これがスイス連邦の萌芽となります。谷あいの小規模な共同体（ゲマインデ）が先に存在し、次に、これらがいくつも結びついて州を構成し、その州が主権を留保しながら同盟を結ぶことによって、次第に大きな連邦をかたちづくっていきました。ツェルマット村は1815年のヴァリス州の連邦加盟によりスイスの一員になっています。

日本が、明治時代、富国強兵策を推し進めていたころ、ツェルマットの村議会は『マッターホルンにロープウェイや登山鉄道を建設するプロジェクト』を否決。村に開発一辺倒から自然環境保護の観点が芽生えます（1890年）。そして、日本が太平洋戦争終戦後、間もないころ、ツェルマットに電気自動車が入り込まれます（1947年）。地理的条件から元来、ガソリン車が走っていなかったツェルマット村は、1972年及び1986年の2度の住民投票でテッシュからツェルマットまでの州道の建設を拒否。村は「ガソリン車のいない観光地」として発展し、現在では電気自動車は500台を越えています。



ツェルマットは村中が歩行者天国

住民は、自分の属するゲマインデにおいて、ほとん

どの決定に直接参加します。スイスでは、すべての物事に、住民→村・市→州→連邦という流れがあります。

ツェルマットでは、予算・決算時期の年2回、議会承認後に予算・決算書を村民集会にかけます。昨年度の予算・決算書を見ると、黒字と赤字が一目で分かる棒状グラフ等があり、住民が村の財政状況をしっかりと把握できるよう工夫されています。全収入の半分は税金で、観光事業の伸びにより個人所得税や法人税が増えています。ユニークな税としては、滞在税や犬税などがあり、その他にロープウェイ、鉄道、水利権(氷河の水を売っている)、水力発電所等の財源があります。

ホテルの中庭でマッターホルンを見ながら(右の写真参照)、ブルネルさん(通訳:著書に「スイスからのメッセージ」)とガブリエル氏(ホテル・メトロポールのオーナー:元ツェルマット村観光局の事務局長)とこんな話をしました。



「私は日本で建物の紛争調整にかかわる仕事をしたことがあります。その紛争原因の一つに眺望が悪くなるということがありました。オーナーがこのホテルを建てたとき、他のホテルからマッターホルンが見えなくなることではクレームはありませんでしたか。また、村役場に苦情をいう人はいませんでしたか。」

〈ガブリエル氏〉

『このホテルの建設で他のホテルから苦情はなかった。村の建築規則に従ってホテルを建てているので問題はない。』

〈ブルネルさん〉

『そんなことで役所に苦情をいう人はいません。』

すなわち、自分たちが作ったルールを守っている限り、他人から苦情を言われる筋合いはないのです。村の規則はホームページ (<http://gemeinde.zermatt.ch/>) に、収録されています。

ツェルマット村の交通規則

『村内の道路及び歩道は、原則として歩行者優先で

あり、ツェルマットを車のない歩行者優先の観光地として保持していくことを目的とする。電気自動車:一定規模以上のホテルやタクシー(右写真参照)等の営業用のみで個人所有は禁止。制限時速:20km以下。車体は、長さ:4m以下、幅:1.4m以下、高さ:1.4m以下で、一般のガソリン車のようにみえてはならない。』



私がクローニック氏(ツェルマット村の助役代理)に「環境に関してどんな教育をしておられますか。」と尋ねた時に、クローニック氏は次のように答えられた。

『いろんな角度で教えています。センシビリティ(感受性)に訴えるかたちで、例えば最近、自転車が早く走りすぎるのではないかとこのことをテーマに話をしました。いろんな身近なことをテーマに話をします。』

自転車が早いとは環境問題???・地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模の問題をイメージしていた私はクローニック氏の回答の意味がわからなかった。・・・が、翌朝、「環境」とは「身の回りのこと」であることに気がついた。身の回りの問題一つ一つを片付けていけば、何も地球規模の問題にならないと。

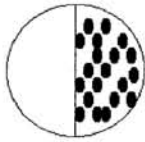
このことを山田氏(ツェルマット在住13年 環境カウンセラー)に話すと、『それは、すなわち人の歩く速度に合わせるということです。』と教えていただいた。住みやすいとは、人に焦点を合わせるということなのです。ツェルマットのように人の歩く速度に合わせた環境は、交通事故や犯罪をなくし、人と人との触れ合う機会を増やし、地域を活性化するので。



道路の中央で遊んでいる子どもたちをよけて通る電気トラック

山田氏の話

『私もツェルマットの先生からよく環境教育について話を聞かせてもらっているのですが、実は特別な内容ではないのです。例えば、切り抜いた円形の



紙を半分に折り曲げさせ、その半円に、たくさんの点々を書き入れさせる。次にそれを広げ、点が書かれていない半円について、「まだ半分、残っていると考えますか、それとも半分しか残っていないと考えますか。」と子供たちに問う。この紙が自然だとしたら、次の日は白いところがゼロになるかもしれない。そういう自然の壊れやすさを教えるのです。

また、ツェルマットの観光客が捨てるゴミを実際に調査し、そこからゴミはどうして出るのかを生徒に教えています。半面、ゴミを落とす観光客が来るからこそ、生活が成り立っていることも子どもたちに教えています。非常にバランスがよい教育です。』

生活に根ざした実践的教育

スイスは資源がなく18世紀まで傭兵という出稼ぎ兵隊をヨーロッパ各国に派遣し外貨を稼いでいました。スイス人同士が戦うこともありました。そのような辛苦の時代を経て、スイスは「生活から学ぶ」という職業教育に重点を置いたベスタロッツの教育思想のもとに世界で最も優れた教育システムの一つをつくりあげました。一般に義務教育の小・中学校を卒業すると、職業見習いを始めるか、高校（ギムナジウム）に行きます。職業見習いを終え、連邦試験に合格するとその道のプロとして生活ができます。一方、高校の卒業試験（マトゥーラ）に合格すれば誰でも大学（ただし、入学後の試験は厳しい。）に入学できます。そのため、日本のような受験競争は存在しません。

スイスの学歴偏重のない社会で、かつ、人の歩く速度に合わせた環境の中で育つツェルマットの子どもたちは、実に屈託のない表情をしています。



次に、仮の話として、人工島アイランドシティに、下記のスイスの2パターンの政策を応用してみます。

パターンⅠ：すでにガソリン車が走っている自治体で、ガソリン車を排除する政策

スイス連邦政府は『2000年のエネルギー』という政策の中で“CO₂のエミッションを2000年に1990年の状態にもどし、その状態を継続していく”ということの基本目的として、イタリア国境に近い人口6,500人の村メンデリシオ（図1参照）をモデルタウンに選び電気自動車のまちづくり（<http://www.infovel.ch/>）を実行しています。スイス連邦政府の狙いは、メンデリシオの成功が、スイス中に広まり、それが世界中へ拡大していくこと。すなわち、世界への貢献。

パターンⅡ：元来、ガソリン車がなかった自治体で、それを存続させようという政策

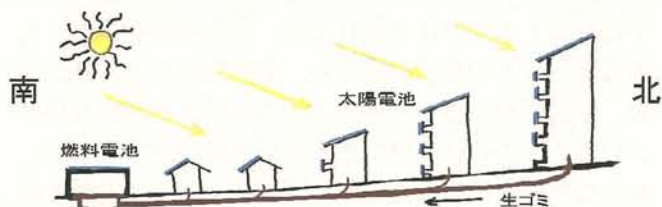
山の上や谷の奥に位置するため、もともとガソリン車が入っていなかった9つの自治体が集まって、1999年に『自動車のいないスイスの観光地連盟』を結成。ツェルマットはその代表的存在です。（図1参照）

そこで、ツェルマットの生活エリアとほぼ同規模であるアイランドシティの北東部分に、ツェルマットのように人の歩く速度に合わせ身近な問題を住民集会にかけ、持続可能な発展を試みるモデルタウンを私なりにデザインしてみました。その際、ウォルト・ディズニーの思想（私は彼がツェルマットのホテル・ツェルマッターホフの常連客であった事実及び彼の言葉から「シンデレラ城」は、「マッターホルン」という想定をしました。）及び物理的に車が通行できないイタリアの沈みゆく水の都「ベニス」における大学設置による復興計画も参考にしています。



3D-CGのアニメーションの一コマ（注：参照）

- ①当地区内の鉄軌道の駅は1つとし、ツエルマット、ディズニーランド及びベニスと同様にメイン・エントランスはここ一か所とする。
- ②ガソリン自動車の進入禁止。電気自動車（時速20km以下）は営業用のみ。
- ③駅から中央の広場までの間に商業施設を配置し、広場周辺に幼・小・中・高等学校を配置する。学校の運動場は広場とつながり、住民も使用できる。
- ④エントランスや広場の南北軸線上の最北にシンボルとなる世界中の学生を対象とする環境情報大学（大学入試はないが、中間試験は厳しい）を配置する。
- ⑤中水利用の雨水を貯める運河や池を中央広場の周囲に巡らせ、その外側に電気バスが運行する環状道路を設置。また、周辺の海浜公園には中央広場から放射線状に行くことができる。
- ⑥北側に高層の建物、南側に低層の建物を配置し、屋根や外壁に設置された太陽電池パネルから効率良く太陽エネルギーを吸収する。



- ⑦敷地造成も北から南へとゆるやかに下がる勾配とし、ディスポーザーで処理された生ゴミが効率良く燃料電池発電所へ流れ込むシステムとする。
- ⑧⑥及び⑦とともに電力エネルギーの自給自足をねらい風力発電施設も検討する。（下記パース参照）



CG 豊浜団地にツエルマットの電気自動車が走ったら



CG 豊浜団地にチューリッヒで出あった電気自動車が走ったら

人の歩く速度にあわせた環境がアイランドシティにできれば、ツエルマットのように環境・自治・財政・教育等のバランスの重要性を来訪者に、単なる知識ではなく実体験として伝えることができ、それは長期的に見れば地球環境全体にも貢献していくことになると思っています。

ドン・キホーテ



（注：3D-CGとは3次元立体のコンピュータ・グラフィックスという意味ですが、今回それを動画化しています。この手法は、一般の方々ができあがっていない3次元空間を動画の中で疑似体験できるため、建設費がかさむ建物や空間のチェックには特に有効です。前職場の博多座で実証済み）

（福岡市役所農林水産局市場建設課）



台湾少女漫画について

比較社会文化学府博士課程 2 年 ^{おう}王 ^{げん}愿 ^き琦

台湾における漫画図書館

台湾の台北市立図書館は1998年7月に漫画を特別に収蔵する分館—中崙分館を設立しました。4階建ての中崙図書館はどこに目を向けても、漫画だらけです。漫画は児童、文芸、探偵、社会写実、科幻などの分類で陳列し、台湾本土漫画家の作品から日本の翻訳漫画まですべてそろっています。台湾における初期の漫画作品、漫画家の手稿、漫画に関する評論なども見られます。さらに、漫画作品の展示会、漫画の読書会などの活動も不定期に行われています。このように図書館が漫画を特別収蔵することは、従来漫画が文学、芸術、文化ではないと視する台湾の図書館において、画期的なことだと言えるでしょう。確かに漫画の台湾における地位は、すでに文学と芸術の融合する新興文化だと認められました。よって、今回は「台湾少女漫画について」をテーマとして、簡単に台湾少女漫画の歴史を辿りながら、皆様に台湾少女漫画世界のおもしろさを分かち合っていたいただきたいと思います。

台湾少女漫画の元祖

台湾少女漫画はいつ登場したのでしょうか。台湾漫画研究の入門書の『台湾漫画40年初探』、『風城台湾漫画50年』、『台湾漫画史特展』によると、1960年代の陳定国、錢夢龍、王朝基、許華良の4人が台湾少女漫画家の元祖と言えます。台湾では、1955年から1964年が週刊漫画・雑誌の百家争鳴の時代であり、1960年前後、全台湾の漫画雑誌は約20種類ありました。前述の4人の少女漫画家はこのような背景で生み出されたと考えられます。

この4人の特徴をそれぞれ述べてみましょう。

陳定国は地方戯曲文化を題材とし、ユニークな「鳳眼（切れ長ですっきりした目）美人」という漫画を創作しました。また、1950年代末から60年代初めにわたって五つの漫画雑誌に連載された陳氏の「呂四娘」、「孟麗君」、「花木蘭」、「白娘娘」、「西施」など百部ほどの作品はすべて台湾の「野台戲」（田舎で掛け小屋を造ってやる芝居）で上演され、それらの主人公の鳳眼美人特有の造形（図1）は少女漫画マニアを

魅了しました。

錢夢龍は陳定国の画風をまねつつも、少しずつ自らの独特な風格を出していきました。その作品の多くは「苦女蘇三」、「姐己」、「六世夫妻」といった既存の民間戯曲・伝説を主題としています。それらはどれも読者がよく知る物語でしたが、「歌仔戲」（台湾民間戯曲）の大変流行っていた1960年代当時の台湾では多くのファンを持っていました。

王朝基は1960年当時台湾の流行歌曲の「望春風」、「補破網」の曲名を漫画のテーマとし、社会写実の内容で多くの少女を魅了しました。

4人目の許華良は自らの経験に基づく青少年時代の学校生活と人間関係を題材とし、「星淚濺荷花」と「冤家冤頭」などの作品を発表し、家庭問題から、社会問題、学校問題、さらに男女の間の微妙な心理をも描いていきました。作品はほとんどが恋愛物語でしたが、繊細な筆致で描かれた青年心理は、文学の雰囲気と漂わせ、多くの少女を引きつけました。

この4人の台湾少女漫画家の作品と特色を見れば、台湾少女漫画が1960年代にはすでに大きな発展を遂げていたことが分かります。

台湾漫画審査制度

このように、1955年から1964年は台湾漫画界の百家争鳴の時代でしたが、よいことは長続きしないものです。60年代中頃に行政院から、「編印連環図画輔導辦法」（1962年11月）、「国立編訳館連環図画編印及送



図1 陳定国の「呂四娘」。主人公の鳳眼美人特有の造形は少女漫画マニアを魅了した。（『台湾漫画史特展』・台北国立歴史博物館・2000）

審辦法」(1967年1月),「国立編訳館審査連環図画補充注意事項」(1967年6月),「審定執造發給辦法」(1969年11月),「国立編訳館連環図画送審程序」…など,次々と審査制度が発令され,これによって生まれたばかりの台湾漫画界は大きな打撃を受けました。このときもたらされた漫画文化断層は今思っても取り返しのつかないほど大きなものです。当時の台湾における漫画のレベルは決して日本に引けを取らないものだったのですが,「審査制度」のため,何人かの傑出した漫画家たちが創作をしばらく断念することになりました。そのため,これ以後は多量の日本漫画がコピーされ,それから20年間,台湾漫画市場は日本漫画の天下になってしまったのです。

台湾の漫画界でようやく少女漫画家が登場したにもかかわらず,たちまち20年の空白期に陥ったのは,本当に残念としか言いようがありません。

では次に,このような審査制度の後,いつから新世代の台湾少女漫画家が現れてきたのかという問題を考えてみましょう。

台湾少女漫画の新紀元

台湾漫画はしばらくの空白の後,ようやくひとつの高潮に至りました。1989年までの,日本の漫画があふれていた台湾漫画市場に一人の台湾漫画家—游素蘭があらわれたのです。彼女の作品『傾国怨伶』(図2)(全4冊,台湾大然出版社,1990年)の登場はそれまでの台湾漫画に大きな変化をもたらしました。『傾国怨伶』は游素蘭の漫画界における地位を不動にした長篇作品であり,台湾漫画の歴史と状況を一変させた大作です。この作品の登場とともに,「素蘭ブーム」が起こったために,台湾国内の出版社も台湾本土の漫画家の創作を重視し始め,以後,台湾本土の漫画家が重用される風潮が生まれました。

現在の台湾少女漫画評論家たちは基本的に「新世代の台湾少女漫画は1980年頃から始まり,その初期には高永,游素蘭,張静美などの漫画家が台湾少女漫画界を率いた」と認めています。これらの新世代少女漫画家は多くの場合出版社の「漫画新人賞」受賞者でした。また,彼女たちは共通して,日本の漫画家を好んでいました。特に,荻尾望都,惣領冬実,宮脇明子,上條淳士などは人気があります。台湾の少女漫画家たちは小さい頃から日本漫画と接触し,自然に自分の好きな日本漫画家を崇拝し,さらにこれらの漫画家を模倣の対象としていったのです。



図2 游素蘭の『傾国怨伶』は游素蘭の漫画界における地位を不動にした長篇作品であり,台湾漫画の歴史と状況を一変させた。

(台北・大然出版社・1991)

台湾少女漫画の現況

次に,簡単に台湾少女漫画の現況を紹介したいと思います。

台湾少女漫画は大別して「漫画雑誌」と「漫画単行本」の二つの形態で読者を魅了しています。1980年以後,20年間に台湾少女漫画界では約43名の少女漫画家が生まれました。そして,約120部,285冊の作品が台湾少女漫画の世界を豊かにしてきました。少女漫画の二大出版社である東立出版社と大然出版社はともに漫画家スタッフの養成を目指しており,彼らの作品は,自社で出版することが多いようです。東立出版社の陣容は王宜文,侯采佑,李崇萍,林欣穎,頼安,沈蓮芳,黄佳莉,風杏鈴,楊邵倫などで,大然出版社のほうは林玉琴,劉曉蓓,伊歆,曉君などがいます。高永,游素蘭,張静美などはすでに人気のある漫画家なので各出版社に作品が見られます。

台湾少女漫画の内容

さて,ここでは前述の漫画家40人の120部の作品を対象としながら,台湾少女漫画を簡単に分類してみようと思います。

(一) 古代作品

1-1 才子佳人

本類型の特徴は琴,棋,書,画などの才能に精通する才子と佳人のラブストーリーです。中国の戯曲文学と似た内容は審査時代前の漫画家,陳定国,錢夢龍の作品の特徴と共通していますが,新世代の少女漫画家は単に民話や古典文学を材料としながら描くのではなく,史実に基づきながら自らプロットを創作することもあります。

1-2 武侠愛情

「武侠愛情」という類型は意外に作品数が多く,多くは5冊以上の長篇漫画です。このグループの作品の筋立ては実際の歴史を物語の舞台とし,武芸に長けた男と女の主人公が国家と家族のために

復讐する義務を負っているため、敵対する相手と恋に落ちて、互いに愛することもできないというものです。このようなプロットは最も強く読者をひきつけます。そのため、「武侠愛情」に属する台湾少女漫画は衝撃性、歴史性、動作性、叙事性いずれも優れていると言えます。伊歆の『宣和恋』、『碧海精霊』（図3）、侯采佑の『細疆曲』、『斷腕公主』及び林玉琴の『虚幻彼方』はこの題材中の代表作だと思います。

1-3 浪漫神話

この類型の物語は中国の古代を背景とし、中国の神と人間の恋を描いています。

1-4 「聊齋」物語

狐、鳥、亀などの動物が人間に変身し、人間と恋に落ちるという中国の古典文学名著「聊齋誌異」風のプロットが本類型の特徴です。なかでも、『青春小鳥』は人気漫画家張静美の新作で、ただいま連載中です。その清新・人性化の作風はこの「聊齋誌異」風の作品に新しい局面を開いたと言えます。

1-5 英雄伝奇

この類型の作品としては唯一、高永の『梵天変』があげられます。この作品は少女漫画の画風で人間、神祇、魔神らが激しく戦う英雄伝説を描いたものですが、その内容は伝統的な少女漫画の恋愛物とは一線を画しているという点で注目されます。『梵天変』は高永の台湾少女漫画界の地位を定めたもので、少女漫画中の最高傑作と言えるでしょう。

1-6 宮廷恋曲

この類型の漫画は19世紀始めの戦時下の欧州各国を舞台とし、「欧州宮廷」式の画風で波乱に満ちた恋を描写します。漫画家は外国の歴史、服装などの考証に心を配り、絵画のテクニックも素晴らしいと言えます。

(二) 現代作品

2-1 青春学園



図3 「武侠愛情」という類型の台湾少女漫画は衝撃性、歴史性、動作性、叙事性いずれにおいても優れている。伊歆の『碧海精霊』はこの題材の代表作。
(台北・大然出版社・2000)

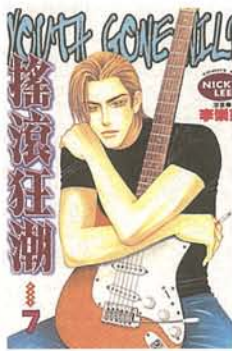


図4 李崇萍の『搖滾狂潮』は台湾のキャリア・ウーマンが仕事に対する情熱、仕事の中で同じ夢と理想を持つ相手と恋愛する過程を描写する。
(台北・東立出版社・2000)



図5 高永の長篇漫画『星座刑事』は台湾以外のものを題材としたもので傑作である。
(台南・長鴻出版社・2000)

台湾少女漫画家が最もよく使う題材は「青春学園」です。これは多分、学園生活というのが漫画家たちのだれもが経験したことがあることであり、このような身近な題材を創作すれば、漫画家たちはプロットと人物の設定に半分の労力で倍の成果を上げられるからでしょう。しかし、同時に学園漫画はレベルの差がかなり大きく、それが人気作品になるかどうかの第一の条件はやはり漫画家たちが伝統的な学園漫画の枠組に新たな風穴を開けられるか否かにあるといえます。例えば曉君の『魔法快遞321』と『魔法600秒』は男女の主人公に魔法を使わせたことで、若い人たちに無限な想像空間を与えることになりました。また、沈蓮芳の『一輩子守着妳』は少年・少女たちの同性愛問題を取り上げ、読者に強い印象を与えました。

2-2 新新女性

台湾のキャリア・ウーマンが、仕事に対する情熱、仕事の中で同じ夢と理想を持つ相手と恋愛する過程を描写する「新新女性」という類型は、女性の様々な仕事の日常という観点から、とても多様な表現ができる題材だと思います。頼安の『恋影天使』は撮影が大好きな撮影工作室の助手「丁家羽」、李崇萍の『搖滾狂潮』（図4）はアジア一のバンドを作るという夢を持つマネージャー「藍亜婷」、劉曉蓓の『微熱蜜語149℃』は一生懸命に美味しいケーキを作ろうとするケーキ屋さんの娘「林瑋琪」、曉君の『隨風起飛』はダンスに夢中になる芸術学院学生「韋旭晴」などの女性主人公の仕事に対する情熱に着目し、その専門の知識（撮影、バンド、ケーキ作り、ダンスなど）も紹介され、注目すべき作品だと思います。

2-3 暴力恐怖

学園や職場を物語の背景とし、人間の愛、怨み、嫉妬を描写するサスペンスです。

2-4 異国情縁

台湾女性の海外で起こった恋を描きます。漫画にしやすい題材と言えますが、作品の数はまだ少

ない分野です。

2-5 異国題材

これは台湾以外のものを題材とするものです。なかでも、注目しなければならない作品は高永の『星座刑事』（図5）でしょう。この作品は星占い
いで人間の性格を分析する刑事の英雄伝奇であり、山場が豊富なので大変面白い作品になっています。

2-6 実在人間

実在の人間、本当の出来事から改編したものです。例えば、高永の『真情黛安娜』はイギリス元皇太子妃のダイアナの一生を題材とした愛情物語です。

(三) 未来作品

SF愛情

科学技術の進んだ未来世界では人間の愛情はどうなるのかということを問題にしたもので漫画家たちの想像力が100%発揮されます。このような「SF愛情」は台湾少女漫画家の好む題材だと言えます。

(四) 超時空作品

4-1 隔世情縁

台湾超人気少女漫画家である游素蘭の作品にはここであげる「超時空」を題材にしたものが多く、例えば長篇の『傾国怨伶』、『火王』があげられます。時空間の変貌自在、多次元の愛情、さらに百年、千年でもついに叶うことのない恋といったプロットは少女漫画マニアの心を引きつけます。游素蘭の作品以外、林玉琴の『天魔變奏曲』、木笛の『愛上300歲的^{こいおちる}女孩^{しょうじょ}』、頼安の『落花』などの作品も人気があります。特に『愛上300歲的^{こいおちる}女孩^{しょうじょ}』は台湾人気作家の呉淡如のベストセラーを改編したもので、後味がいい作品です。

4-2 空間神話

「異世界」を物語の背景とする台湾少女漫画は只張静美の『奇夢神話』しかありませんが、この作品は空間を越え、真理を求めようとする少女の奇遇を主軸としながら、物語の中に人間への強い関心が垣間見え、絶対に読者を感動させる佳作と言えます。

台湾少女漫画の特色

これら40数人の漫画家の作品を調べると、以下にあげるようないくつかの特色が見られます。

1. 台湾の現実生活を題材の背景とする。

題材の背景が現在の台湾となっている作品には、学園漫画、職場漫画はもちろんのこと、その中に、台湾人が知っている場所、人物、物事などがよく登場します。主人公たちの考え方、付き合い方、話し方…なども全部台湾式で、日本少女漫画とは、国情の違いから、異なる箇所が多々あると思います。

2. 台詞の中に台湾の俗語がよく見られる。

台湾少女漫画の中には、もう一つの面白い現象があります。それは作品の台詞についてで、物語の背景が古代であろうと、現代・未来であろうと、常に台湾の俗語（注意、中国語ではない）が使われるということです。特に頼安の『恋影天使』は台詞の1/5までが台湾俗語で、その他、楊邵倫、仙貝、彭雪芬、游素蘭、劉曉蓓などの漫画家も台詞に台湾俗語を使います。

3. 尽きることのない古典題材と歴史題材。

台湾少女漫画の題材分野のうち、「才子佳人」、「武侠愛情」、「浪漫神話」、「聊齋物語」、「英雄伝奇」及び「隔世情縁」などはすべて古代の物語です。物語の背景や服装の考証などは史実に基づかねばならないという制限はありますが、尽きることのないこれらの歴史的題材は台湾少女漫画家の最大の財産と言えるでしょう。

台湾少女漫画への期待

以上、台湾少女漫画の歴史を辿りながら、台湾少女漫画を簡単に紹介してきました。新世代の台湾少女漫画がわずか20年で、現在のような成果をあげるまでになったということは嬉しい限りです。しかし、全体を眺めてみると、中国の古典文学あるいは中国の歴史題材を援用した作品は多いのに、台湾本土の歴史、文化、郷土に基づく題材を扱った作品がまだ少ないことに気づき、残念に思います。台湾漫画はすでに新興な文化と認められたのですから、少女漫画家たちも文化人としての使命感を持ち、自らの文化に関する作品を創作することに努めなければならないと思います。とはいえ、今の台湾少女の重要な漫画家はほとんどが20代で、最年長の漫画家でも40歳にはなっていません。また、新しい人材もどんどん登場しています。近い将来、台湾人の心を動かす本土の作品が現れることは間違いないでしょう。台湾少女漫画の未来に、私は大きな期待を抱いています。

サークル紹介

What's KUBC ?

九州大学放送研究会

文学部 2 年	たか 高	はま 濱	よし 良	あり 有
経済学部 2 年	い 井	で 手	み 未	お 央

What's KUBC?

KUBC とは何だろうと思うかもしれませんが放送部のことです。しかし、高校までと違い校内での呼び出しをするわけでもなく、お昼休みの放送などもやっていません。では、どんな活動をしているのでしょうか？ その一端をご紹介します。

KUBC にとってのお祭り

文化系のサークルにとっての最大の楽しみと言ったら自分達の活動を発表する時でしょう。演奏会をするサークルもたくさんあります。KUBC にとっての発表の場と言うのは11月にある九大祭です。九大祭では私達はミニ FM 局を開局します。九大祭の期間中、六本松のキャンパス内に FM 電波を飛ばし、本当にラジオ放送をしてしまいます。ですから九大祭の期間中に六本松キャンパスに FM ラジオを持って来てもらえば、私達の放送を聞くことができます。また、FM 放送だけではなく、うどんの模擬店をやっています。放送だけでなく模擬店も楽しめる。一度の学園祭でふたつのことを同時に楽しむことができるサークルなんてそんなにありませんよ。

学祭までに

さて、仮にもラジオ局を名乗る訳ですから普通のラジオ局と同じように番組表を作らなければいけません。そして、番組表を作るには番組が必要です。昨年は三日間で延べ37もの番組やラジオドラマを22時間にも渡って放送しました。さらに FM ですからリクエストにも応えたいという気持ちから毎年二百枚もの CD を集め、みなさんのリクエストにお応えします。なんと、九大祭の準備に取り掛かるのは早ければ7月。遅くても8月です。それだけの、準備期間を費やして初めてミニ FM 放送が成り立つのです。大変そうに思えるかもしれませんが、やってみると案外楽しいものです。ゼロからものを創り上げる喜びをサークルのみんなで感じることができ、九大祭が終わった時には心地よい疲労感を感じることができます。

日頃の活動

普段、私達は週に三回の部会を行い、アナウンスの

技術の向上や機材についての知識を深めたりしています。そして年に五回ほど発表会を行い、部内のみんなに活動の成果を番組という形で発表します。しかし、何も怖れることはありません。入った時はみんな素人みたいなものです。（現部長は高校時代にはバレー部でしたし、副部長も高校時代は応援団でした。）

そして、KUBC の活動は放送だけにとどまりません。7月には「ただ遊ぶためだけの」合宿がありますし、8月にはみんなで大濠公園の花火を見に行きます。その他にも温泉に行ったり、ラーメンを食べに行ったり、福岡ドームでダイエーを思いっきり応援に行ったりと、様々な活動を行っています。昨年度には野球場を借りてみんなでソフトボールをしたりもしました。とにかく、一度入ってしまえば楽しむことができる所です。

自分から動かないと

私がこのサークルについて思うことは「自分から動けばいくらでも楽しむことができる」ということです。特に、九大祭の時はいくらでもチャンスがあるので自分が動けば動くほど楽しむことができます。九大祭を私達と一緒に楽しんでみませんか？ 興味が沸いてきた方、詳しく話を聞いてみたい方は気軽にサークル棟2階の部室を訪ねてみてください。または、下記のアドレスにアクセスしてみてください。私達はいつでも歓迎します。

<http://rcweb.rc.kyushu-u.ac.jp/~kubc/>





九大トライアスロン愛好会 ガイア

工学部3年 ^{まつ}松 ^お尾 ^{りょう}亮 ^{へい}平

私達トライアスロン愛好会は競技志向から（ほとんどが）エンジョイ派の人まで様々います。このサークルではトライアスロンだけにとられずに、その人の得意分野を生かすためにスイムとランを組み合わせたアクアスロン、バイク（自転車）とランのデュアスロン、又は1種目でマラソン、距離別のバイクのロードレース、ツーリング、ジョギング等と様々な形で楽しむ事が出来ます。陸上や水泳経験者で新しい事にチャレンジしたいと考えている人はここで方向転換してみてもはどうでしょうか？

トライアスロンというと、体力勝負のスポーツと思われがちですが、トップクラスになると体力よりもスピード、技術力が勝負に関わってくるスポーツなのです。オリンピックを見た人は分かりますよね!? ほとんどの大会がショートタイプと言われるもので、だいたい2～3時間で完走できます。1日かけてやってるのはほとんどありません。

前に述べた種目の大会は九州各地で開催され、気の合う仲間と共に日帰り旅行を楽しむ感じで遠征したりします。地元福岡でも多くの大会が組まれています。百道、海の中道、筑後川、宗像、門司、小倉とかなりあります。遠出する時は長崎の五島列島、大分の国東、鹿児島島の指宿、熊本の天草、佐賀の唐津、宮崎のシー



長崎大島での夏合宿

ガイアと九州各県に行きます。もちろん沖縄の宮古島はご存知の方もいるんじゃないでしょうか？ 又、正式に学生選手権も開催され、インカレという特別な舞台に立つために目標を立てて頑張っている人もいます。

トライアスロンは泳ぐ、乗る、走るといった基本的な動きで、難しいルールもありません。だから老若男女を問わず、小さい子から60～70歳ぐらいの人まで楽しんでいます。トライアスロンの大会を1つ完走するだけでも“すごい”と思われがちですが、今は若いので1日休めば回復します。人間って思ったより丈夫なんです。個人的に去年自分は（そんなに戦績はよくないですが）大小含めて10大会ぐらい参加しました。この他にも春、夏には3泊4日の合宿があるので特に夏休みは充実していて楽しい思い出になります。トライアスロンはまだマイナー競技ですが今から始めれば仲間もたくさんいますし、ライバルもいます。学生からやって損はないのでトライアスロン愛好会ガイアを宜しくお願いします。

ホームページアドレス

<http://rcweb.rc.kyushu-u.ac.jp/~gaia/>



アクアスロン大会（百道にて）



CRJ 福岡での活動

文学部3年 ^{いし}石 ^{ばし}橋 ^{しん}信 ^じ二

こんにちは。九州大学文学部3年、石橋信二です。僕は今、学業をそっちのけで(?) CRJ 福岡という団体の代表をしています。みなさん、CRJ 福岡のことをご存知でしょうか?

これを読めばすべてがわかる! そして僕達にとってはいい宣伝にもなる! ということでみなさんにとっても僕達にとっても利益がありますね(笑)。せっかくいい機会をいただいたので、しばらくおつきあいください。

1. WHAT'S CRJ?

CRJ (COLLEGE RADIO JAPAN) とは、1987年にアメリカの CMJ (COLLEGE MUSIC JOURNAL) を日本にもつくり、現役の大学生たちの手によってスタートされたものです。ちなみに CMJ とはアメリカの約60もの大学の学生が自分達のために運営しているラジオ局の組合のようなものです。そこではメディアに惑わされることなく、自ら見つけてきた本当に好きな音楽だけをかけています。

CRJ は独自の学生ネットワークを活かしあらゆるメディアを結び (メディアミックス)、ラジオ番組やフリーペーパーの制作、イベントの企画及び運営を行っています。メジャー、インディーズ、洋楽、邦楽を問わない〈良質の音楽〉を学生の手によって発信することを目指した学生プロデュースチームです。現在、札幌、東京、大阪、名古屋、広島、そしてここ福岡に支部を置き、都市中心型になりやすい音楽シーンにおいて地域的な情報をフォローすることで、他には類を見ない全国規模での様々な活動を行っています。

CRJ 福岡は、〈商業主義に侵されていた音楽を自分達の手に取り戻したい〉というコンセプトの下に、福岡に住む音楽好きの大学生・専門学校生が中心となって集まりました。音楽のあらゆる壁を越えた自由な発想でラジオ番組の制作、フリーペーパーの作成、クラブイベント“SELECT”や、ライブイベント“JET”の企画、運営を行っています。現在スタッフは僕も含めて15人ほどいます。番組は毎週土曜日深夜3時~5

時、CROSS FM にて O.A 中です。またフリーペーパーは福岡市内のレコードショップにおかせていただいています。ホームページがありますので興味を持たれた方はのぞいてみてください。URL は、<http://crjf.tripod.co.jp/> です。

2. Radio Program

毎週の番組では CRJ 福岡のオリジナルチャートにランクインしている楽曲を情報やコメントと共にお届けしています。チャートは僕達の活動の中核を担うものであり、本当に良いものをお届けしているという自信を持っています。このチャートは番組のほかに、先程のフリーペーパーやホームページでも見ることができます。

それから、CRJ 福岡独自のセレクトによるアーティストのコメントやインタビューなど、アーティストの生の声をお届けするコーナーがあります。これまでに登場していただいたアーティストはコーネリアス、ミッシェル、サニーデイ・サービス、ピチカートファイブ、ハイスタなどといった大物ゲストから、BUTCH, scribbler などここ福岡で地道な活動を続けているアーティストまで、幅広い範囲をカバーしています。ここにも先程の“音楽のあらゆる壁を越えた自由な発想”という思想が生きているのかもしれません。



福岡市内のレコードショップでオススメの1枚を紹介していただくコーナー“COLLEGE RADIO SHOPPING”はお店によるセレクトの違いなどがみえておもしろいと、ご好評をいただいています。現在、誰もが知っているカメレオンレコード、disc museum というだけあってCDのジャケットが楽しめるKURT、セレクトショップBEAMSの4階にあるBEAMS RECORDS、西新にある幅広い品揃えが魅力の45tours、この4店にご協力いただいています。あなたのお気に入りのレコ屋は入ってますか？番組を聴いて通うようになったという嬉しいお便りも届いています。ぜひ足を運んでみてください。

CRJ札幌との連動企画もあります。“リスペクト NORTH”のコーナーではCRJ札幌がオススメするアーティストを毎週紹介しています。逆に札幌では“リスペクト SOUTH”と題してCRJ福岡イチオシの楽曲をオンエアしています。この「連動」という動きはこの4月から始まったのですが、学生のネットワークを活かすという視点においてこういう動きは欠かせないことだと考えています。

ほかにもおもしろいコーナー満載で2時間お送りしています。たまにプレゼントもあります。是非1度聴いてみてください。

3. club event “SELECT”

CRJ福岡では“SELECT”というイベントを主催しています。このイベントは、ポップミュージックの当事者であるという意識のもと、全国6都市にあるCRJのテーマのひとつである「商業至上主義的な音楽産業へのアンチテーゼ」と「福岡の誇るべきアンダーグラウンドの現場」というコンセプトで定期的に行うクラブ+ライブイベントです。ライブは僕達が今1番観たいバンドに出演していただいています。

第1回は2000年11月10日にキースフラックにて開催し、“GIRLY ROCK NIGHT”と称してDJは全てCRJ女性スタッフが担当しました。出演バンドは福岡地元バンドのBUTCHとscribblerでした。後から知ったのですが、scribblerのメンバーの人は九州大学の出身だそうです。たしか音楽鑑賞部に所属しておられたということです。福岡の1番濃いところをポップに提示でき、来ていただいた方々にも楽しんでもらえたという実感が持てました。1回目ということで準備は大変でしたが、何より自分が最高に楽しめたイベントであったと思います。告知はCRJ番組内での3週にわたる

CRJ-Fukuoka Presents **SELECT**

2001.3.9(fly) at Kieth Flack
Open / Start 21:30 ~
Ticket: adv 1500(with 1 drink)
door 2000(with 1 drink)

Band: Surgely afro(from Nagoya), 蝉
Guest DJ: Yoshitake (タイシノブクニ)
Dj: CRJ-Fukuoka Member
後援: CROSS FM

3月に行ったイベント「SELECT」のフライヤー

特集、フライヤー1000枚、チャートフライヤー2000枚、CRJ ホームページ、タイムマーケットなどで行いましたが、反省点として、告知にはもっと力を入れなければならないということが挙がりました。動員者数は173名でした。

第2回目は2001年3月9日に同じくキースフラックにて開催しました。CRJ男性スタッフDJと、GUEST DJに福岡のショップ“タイシノブクニ”からヨシタケさんにも登場していただきました。このときは福岡の蝉と、それから名古屋からSURGELY AFROというバンドに来ていただきました。前回の反省点をいかし、今回は告知に力を入れることができました。前回の告知媒体に加えて今回はスペースシャワーTVでの告知や、CROSS FM スポットCM、「BANG ON!」番組内での告知、それからタウン情報誌「Kyushu Walker」において告知をさせていただきました。前回より多くの人に知ってもらえたという実感があります。今回の動員者数は181名でした。

このイベントを通して、やりたいことを実現するためには、やらねばならないことが沢山あり、それらをひとつひとつやっていかなければならないということ、身をもって経験しました。

今僕は本当にいい経験をさせていただいていると思います。他の大学の学生と交流が生まれ、ひとつの事を成し遂げるという素晴らしさは計り知れません。いろいろな方々とお会いする機会も増えました。将来どのような道に進むかはまだわかりませんが、きっとこの経験はなにかしら生きるものだと思います。今の仲間達を大切に、もっともっといろいろなことをやっていきたいと思っています。どこかでCRJのことを見かけたら声をかけてみてください。

21世紀プログラムの挑戦

九州大学では、今年度から「21世紀プログラム」という教育課程を設置しました。これは既存の学部という枠組を越えた横断的な全く新しい形式の教育プログラムです。学生の自発的な積極性を最大限活用しながら、今日的な問題に柔軟に対応できるような「専門性の高いゼネラリスト」を育成しようというのがこのプログラムの趣旨です。新しい大学教育のあり方として大きな注目を集めています。初年度の入学者は20人。どんな学生が入学し、どのような教育を受けているのでしょうか。このプログラムの新入生の二人にこの「21世紀プログラム」を紹介してもらいましょう。

21世紀プログラムって何だろう？

21世紀プログラム まるお けいすけ 丸尾 圭祐

「21世紀プログラム」（以下21CP）といっても、ほとんどの人は私たちがどんなことをやっているのか知らないと思います。事実、私がこの九州大学に入学してからこの原稿を書いている現在までに「21CPって何するところ？」という質問を数十回されました。そして、そのたびに「一言では言えないんだけど」という前置きをして、聞いた側が後悔するほど長々と説明するのです。しかし、同じ質問をそう何回もされると私もうんざりするわけで、最近は一言で説明するようになりました。ちょっとかっこつけた言い方なのですが、「自らが進む道を選ぶのではなく、自ら創る者たちの集まり」というものです。実際私も法学に関する知識も身に付けたいし、教育学的なこと、人類学的なことについても知りたい、日本語以外の言葉も使えるようになりたい、という希望を叶えるための21CPに入ったのです。

私達のほとんどは、既存の学部単位ではとてもカバーできない幅広い分野に興味・関心を持っています。ですから、受講する講義は必然的に増えるわけで、皆の勉強量は相当なものです。中には週17コマの授業をとっている人もいます。彼はいつも忙しそうで、毎日が試験前のようです。私自身、高校のときの3倍は勉強しています。朝早くからきて、夜7時頃まで残って

勉強したりするときもあります。ですが、苦勞は高校時代のものほどではありません。一つ一つの講義が、私たちの進むべき道を作り出すのに必要不可欠なものだからです。はっきりしている人、ぼやけている人、まだ真っ白の人など差はありますが、皆が目的意識をもってがんばっています。

21CPの学生は、皆がそれぞれ強い個性を持っています。そして、皆が今までの価値観にとらわれない様々な角度・手法で学問に取り組んでいます。その20名の個性を記すだけでも面白い読み物になると思うのですが、絶対に書ききれません。それだけ激しい個性を持った人たちの集まりなのです。それは単に学問に対する姿勢だけではなく、性格、生き方などすべて面に言えます。コンピュータから政治、経済、芸能まで驚くほど幅広く莫大な知識を持つ人、海外に留学経験がある人、ものすごく歌が上手な人、漫才師のようにすごい勢いで喋り、しかも自分で大爆笑する2人組、毎日熊本から通学している人など挙げればきりがありません。みんな、とても魅力的な人たちです。こんな人たちがそろっているので、毎日退屈しません。

21CPには、プログラムゼミ、課題提示科目という二つの独自科目があります。前者は10人ごとの2グループに分かれて、環境や近現代史などについて討論や研究発表を行うもので、後者はエネルギー問題やNGOなどについて学外から講師を招いて講義を聴くというものです。そのどちらも、非常に内容が濃く、やりがいのあるものです。特に課題提示科目では、あ



る問題について実際に社会の第一線で活躍している方々から話を聞けるので非常に勉強になります。取り上げられるテーマは、国際協力、環境・生命、市民社会、情報など多岐にわたりますが、そのすべてはこれからいろいろなことを学んでいく上で役立つものだと思います。一期生ということで不安も多少ありますが、それ以上に楽しみも多いというのが今の気持ちです。

冒頭で、ほとんどの人が私達のことを知らないのではないかと書きましたが、ぜひ私達のことを知り、友達になってください。以上に述べたように20人がみな魅力的な人物です。きっと、よい友人になることができるでしょう！



「未知の世界へようこそ☆」

21世紀プログラム ふじもと 藤本 ことみ 琴美

「売り」その①

一人ひとりの目標や夢がそれぞれ違います。少々のズレであるなら他の学部とは何も変わらないのかもしれませんが、21CPのその違いというのは少々ではなく大々なものです。でも21CPの中にはどんな種類の職業も専門性もどこかに共通点があるというような概念があります。一つの専門は孤立させておくのではなくこれからは、様々な専門を統括して機能させていく必要があると思っています。とは言っても目標がみんな違う中で自分の目標を貫くのは難しいかもしれません。

でも私は21CPに入ってよかったと思っています。それは同じ目標の集まりではなくても自分の目標は見据えることができると思うからです。まず前述した概念があります。そして様々な目標の集まりということで自分の目標をあらゆる角度から見るができます。一つの事に一直線につき進んでいく事も大切だと思うけれど、18・19歳それどころか高校生のうちに目標を一つにしほりこみそれにつき進んでいくのは少し早す

ぎるのではないかと思います。少し立ち止まって考え直してみるということも必要なのではないかと思います。21CPはそれができます。そのようにして「考える」事のできるという事は「考え直す」という事でも、「目標を見失わない」という事においても大切だと思っています。21CPのみんなは、きっと自分にあったものを大学生活の中で見つける事ができると思います。

「売り」その②

21CPは入試もそうであったように議論をめぐらす機会が沢山あります。しかもそれぞれ皆が個性的で多種多様な「考え」をもっている集まりだから、一つの個性のみが尊重されるような事はありません。例えばリーダー格の人がいてその人がするからいい事、その人が反対するから悪いこと、そのような状態になることはありません。21CPの一人ひとりがそのリーダー的存在なのではないかと思っています。そして話し合う機会が多い私達は日々成長しているのではないかと思います。知識が増え、いい意味で考え方も変わっています。どの考え方が正しいというのはありません。その様々な考え方にふれる事で受容の幅が広くなり日々「寛大の人」になっているという意味で成長していると思います。21CPの皆、一つの「枠」にいるわけではなく色々な講義がとれるのでそれぞれが様々な所にて、色々な考えを持ちかえてくるから20人での話し合いは少人数ではありますが全く退屈しません。今だけでなくこれからもきっと退屈しないと思います。

最後に21CPの一部の声…

- クラスメートがすごく楽しい♡入ってよかった&入れてよかった-M・A
- 想像してたキャンパスライフよりちょっとハードです。(なんで男女比が1:3なの!?や(笑))-M・I
- 特殊な人種がたくさんでとても楽しい毎日です。未知との遭遇?-Y・I
- 人種のサラダボールやね。しゃべるネタがいつになったら尽きるのやら…-K・S
- 20人しかいないけどけっこう楽しいです。-Y・M
- おしゃべりな人が多くてat homeで面白い(授業も)-A・K
- みんなが積極的だから何をしても楽しいです。-M・S

色々な意見がありますが、とりあえず21CPはとても楽しいです。



アカデミックアドバイザー

ー物理学科 1997年入学生の記録ー

おだ がき 孝
小田垣 孝

はじめに

留年生問題は、教養部が廃止されたところから顕著になった。より正確には、進学制度が廃止されたことにより、全教官が低年次における留年問題にも直面することになったと言うべきであろうか。当物理学科においては、1994年度から留年生の個別指導が行われ、かなりの成果を上げた[森信俊平「長期留年生への対応」、物理学科第2回ファカルティーディベロップメント報告書および大学教育第7号(2001)参照]。アカデミックアドバイザー(入学年次ごとに置かれた学生指導担任)は、この経験を生かして留年に落ち入る以前に学生の就学指導をすることを目的として、1995年度から導入されたものである。以下に紹介するのは1997年度入学生に対して筆者が行ったアドバイザーとしての活動の記録である。

新入生との懇談

講義担当者以外に新入生が直接関わりをもつことができる教官としてクラス担任が従来からおかれている。しかし、クラス編成が各学科ごとではないことや期待される役割が事務的なこと以外は担任任せであることから、全学生の就学状況を把握しているクラス担任はほとんどいないのが現状であろう。

学生との接触の機会を作り、意識を調べるために、箱崎日を利用して昼食会を行った。新入生を約10名ずつのグループに分け、4月から5月にかけて研究室に招き、およそ1時間の懇談会を行った。新入生の意識と希望の調査、大学生生活開始時における問題の聴取を行った。高校における授業と最も隔たりの多い科目が数学であること、また物理関連科目や化学関連科目で出てくる数学的な手法に戸惑う者が多いことなどが判明した。これらの結果は、新科目「物理学入門」の開設という形で新しいカリキュラムの編成に生かされた。

新入生63名中52名は、指定した日に参加した。指定した日に参加しなかった11名については、個別に呼び出しを行い5月末までに全員と面談した。注目すべきことは、この11名の内9名は、その後も呼び出しの対象となっていることである。

学生には、講義の不明な点や学生生活など問題があれば部屋に来るか連絡するように伝えた。1年間常時質問に来たのは1名のみであった。学生への宣伝不足であったこと、また学生が容易に部屋に来られるのは箱崎日に限られることなどから、“相談室”は十分機能しなかった。

単位取得状況の把握と呼び出し

各学生の就学状況を把握するためにほぼ毎学期終了時に成績一覧を取り寄せ、取得単位数が一定の基準以下の学生を呼びだして、個別指導を行った。97年秋、98年春、99年春、99年秋に呼び出した学生数は表1に示す通りである。

表1

	97年秋	98年春	99年春	99年秋
条件	15単位以下	35単位以下	専門20単位以下	専門25単位*以下
人数	10	19	26	10
期間内に来なかった人数	3	3	6	6

*30単位以下の者は20名であった。

表に示すように呼び出し期間内に来ない学生が少なからずいたが、二度の呼出しに応じない学生には、保証人から本人に連絡してもらって、確実に面談を行った。また、保証人に成績表を送付し、問題の質によっては健康科学センターを紹介した。問題を抱えているものほど期間内に来ない傾向にあり、確実に面談することは極めて重要である。

箱崎日の専門科目の単位の取得が少ない学生が多く、箱崎日のあり方を検討すべき時に来ているものと考えられる。

留年の状況

教養部の廃止とともにいわゆる進学制度も廃止され、かわって特定の時期以後の専門科目の履修に条件が付けられるようになった。物理学科では、二年度後期以後の専門科目、三年度物理学実験、四年度特別研究Ⅰに履修条件が設けられていた(1999年入学者からは、履修条件が変更されている)。二年度後期以後の専門

科目を履修するための条件が極めて緩いにもかかわらず、四年次特別研究Ⅰの履修条件が厳しく設定されていたため、3年に留年する学生が多くみられる。履修条件を満たさなかった学生を未進級と見なして、過去6年間の進級状況を表2に示す。1997年入学者は、4年進級では明らかに改善されている。

表2

入学年	1994	1995	1996	1997	1998	1999†
2年後期末進級	1	0	2	2	2	6
3年未進級	2	0	7	3	3	6
4年未進級	8	15	21	9*	10	—
未卒業（在学総数）	12 (60)	17 (59)	22 (61)	15* (60)	—	—

* 1名は留学による留年。† 新カリキュラムで3年進級条件はない。

問題点と対策

留年した学生が抱えた問題点は千差万別であるが、主なものは以下の通りである。

- (1) 講義が理解できない、特に数学の講義についていけない学生が多い。
- (2) 物理にそれ程興味がない、一般に何をやりたいのか不明な学生が多い。
- (3) アルバイトに没頭して、不登校になる。
- (4) 他のことに没頭：

テレビゲーム、インターネットに没頭して、不登校になる者が多い。逆に、登校したくないのでゲームに没頭することもある。

- (5) 学生寮に入居後先輩から誘われるままに麻雀に没頭して、そのまま不登校になる。

一般に何らかの原因で数回講義を休むと、次に出席しても講義についていけず、ずるずると出席が減り、単位が不修得になるという「不登校スパイラル」となる。この現象が留年の最大の原因となっているようである。そのための対策として考えられるのはスパイラルの最初の原因を取り除く、あるいはスパイラルに一步步落ち込んだ学生を引き上げることであろう。

具体的には、次のような対策が考えられる。

- (1) 講義の出発点を、学生に合わせる：

入学試験を選抜テストとしてやる以上、学力の低いものが入学してくるのは仕方がない。入学許可を与えた学生には、正規のカリキュラムにおいて対応する必要がある。

- (2) 入学後新たな目的を見つけた学生には、早い時期に進路を変更させる：

1997年度物理学科入学生の中でも、2学年春の面談においてその意思を表示した学生がいた。

- (3) アルバイトの危険性をオリエンテーションにおいて徹底的に指導する：

学費を稼ぐ必要のある学生もおり、大学内にさまざまなイベントをやる予算があるのなら、その様な学生への奨学金にすべきであろう。

- (4) 問題が生じたときに、学生の方から容易に相談に求められるようなシステムが必要である：

学生就学指導相談室の更なる活動が期待されるが、大きな問題はその様な相談に來られない学生である。必須科目の出席状況や各学期の単位取得状況がアドバイザーに直ちに送付されるような仕組みが必要である。

- (5) 六本松地区においても各学科の同様なアドバイザーを配置する：

2年前期までは箱崎日を利用した活動であったが、余りにも接触が少なく、学生の状況が十分に把握できなかった。

- (6) 特別研究指導教官の就学指導も重要である：

4年生の指導は、特別研究担当者に任せた。しかし、単位不足による留年が3名（他に大学院受験のための留年2名、休学1名）出た。

- (7) 1年次の早い時期からの就学指導が極めて重要である：

意図せずに卒業できなかった11名の学生のうち、1学年末における単位取得数が35以下の学生は9名、1学年前学期の単位取得数が15以下の学生6名であった。

おわりに

63名の入学者の内、本年3月に在学していたものは60名（転学部、退学、死亡各1名）であり、その内卒業した者は45名であった。留年した学生の内、1名は留学による者、2名は再度大学院を受験するための意図的留年、また1名は4年次に意図的に休学した者であるので、意図しない卒業留年は11名であった。この数は前年度に比べると改善されてはいるが、なお1/5に近い数である。この報告がアドバイザーの役割の改善の参考になることを期待するとともに、低年次の学生自身の就学上の参考になれば幸いである。

(理学研究院)



九州大学TA考

人間環境学研究科博士課程3年 ^{なべ}鍋 ^{たに}谷 ^{てる}照

旧帝国大学の学生を配電盤と表現したのは司馬遼太郎である。司馬は夏目漱石の小説「三四郎」を題材として、帝国大学の学生の生活を紹介し、文化の伝道師としての役割を配電盤と表現している。正しくは帝国大学から成り立つ街、つまり東京、本郷のことを表現していると言った方がよいであろう。当時の帝国大学の学生は、全国各地に最先端の知識を配信する重要な役割を担っていた。夏目漱石の経歴を考えると、帝国大学を卒業し愛媛県の尋常中学校（松山中学）の英語教師として赴任する。ほどなく熊本の第五高等学校に転ずる。まさに配電盤であったのである。現在の大学生に、そのような国家の文化伝導のためにという意識が有るか無いかは定かではない。

さて、時代と共に大学の性質が変わっているとはいえ、大学という組織には人を育てる教育機関としての役割と研究機関としての役割という二つの性質をもっている。近年、私は九州大学の教育機関としての側面をかいまみる機会を与えていただいている。ティーチング・アシスタント（TA）としての授業参加である。参加させていただいたのは、健康スポーツ科学実習である。私自身は大学院人間環境学研究科行動システム健康科学コース博士課程3年の学生であるため、来年度以降は社会人として世の中に貢献したいと思っている。世の中の人々に「健康行動とは何か」を伝える役割を担っているからである。そのようなことを念頭に置きながら、研究活動を進めてきたつもりである。しかしながら、研究室で研究ばかりしている大学院生など、教育現場で役に立つなどということは期待できようはずもない。このような現状を踏まえると、私のように教育者を目指す者にとってTAという制度は有り難いものである。なぜならば、教育現場で授業が機能しないと、受講している学生に十分な教育効果が望めない恐れがあるからである。教育は尊いものである。すべての教員と学生の出会いの機会が一期一会である。そのため、on the job training を積む余裕はない。

また、研究の側面においても、自らの行っている研究が応用の場面ではどのように作用しているのかと、改めて考えさせられることもあった。得てしてピンボ

イントの狭い領域に閉じこもってしまいがちな大学院生の思考回路を、応用に通じる幅広い知見を身につけることへの一助に成ったと思っている。いわゆる見当識の設立である。もともと見当識とは、日時や季節、場所や状況を把握することであり、記憶障害によって、これらのことが分からなくなったり（失見当）、間違えて理解しまったり（誤見当）する症状を見分けるために用いられている。研究活動が続けて行く中でも、このような自らの研究上の位置、あるいは応用へのつながりを意識することは極めて重要である。

ところで、最近は多くの大学などで学生による教員評価が行われるようになったと聞く。確かにそれは画期的なことで重要なことであろう。しかし、学生による教員の評価とは即効性だけに注目したものとなっていないだろうか。果たして教育の効果とはそんなに短期間に表れるものなのであるだろうか。TAという学生の時には見えなかった舞台裏を目にすると、先生方の細心の配慮、授業を成功させるための演出に気づくようになる。学生の立場とすれば、how to 的な表現による直接的な情報が有り難いことは多い。しかしながら、情報ではなく経験によって培われることもあろう。あとになってじわじわと効いてくる「先生の一言」や「貴重な体験」というのがあるのではないだろうか。とするならば、教育にとって本当に必要なことを適切に評価するにはもっと長い時間が必要であると考えざるを得ない。懇切丁寧に必要なことを一つずつ教えてくれる先生も大切な存在である。しかし、体験する場を整えてくれる先生も必要なのはである。たとえ学生時代には気づかなくとも。

ともあれ、私はTAによって様々なことを体験したと思う。そして、いつの間にか「最近の学生は……」というコメントを口にして自分にも遭遇した。影響しているものは自らのおかれている立場である。学生の立場、先生の立場と色々あろう。その場に立ち会う体験ができたことは私の将来にとって有意義であることは間違いがない。

これらの体験を生かして九州大学で培った知識や体験を全国に伝える教育・研究の配電盤に私はなりたい。

新任教官自己紹介



自己紹介

きむら よしみ
木村 好美

生まれ育った大阪を離れ、4月1日付で比較社会文化研究院・社会情報部門の助手に着任いたしました木村と申します。

小・中・高と大阪の学校に通い、神戸女学院大学を卒業、就職するまでは研究者を志そうなどとは夢にも思わず、「結婚してのんびり暮らそう」と呑気に考えておりました。就職し、当初の配属先である秘書室から営業部にわがままを言って配置転換をしてもらったにもかかわらず、「何か違う…」との思いが消えず、たった1年間（秘書室3ヶ月、営業部9ヶ月）で会社を辞めてしまいました。その後、奈良女子大学大学院に進学したのも、「わがままを言った手前、仕事以外にやりたいことがある、という形で辞めないとまずいかな」との思いから大学院の試験と海外青年協力隊（家政隊員）の試験を受け、「事前の研修がきつそう」というふざけた理由で海外青年協力隊ではなく大学院を選んだだけであり、「研究ができる」という喜びよりも「これで合法的に会社を辞められる」という喜びの方が格段に大きかったように思います。

このようにいい加減極まりない状態で大学院生活をスタートさせたものの、修士論文を作成する過程で研究の面白さにすっかり魅せられてしまいました。修士2年の時に行った調査があまりにも不出来であったため、調査票の作成からデータ分析まで社会調査全般についてしっかり勉強したいと思い、当時の指導教官の勧めで大阪大学大学院人間科学研究科の経験社会学・社会調査法講座の博士課程に進学することにしました。阪大で計量社会学の勉強を始め、1995年度「社会階層と社会移動全国調査（Social Stratification and Social Mobility Survey）」（SSM調査）に参加する機会を得、無我夢中で目の前の課題をこなして行くうちに、研究職以外の進路を考えなくなっていました。

新たな環境のもと、スタートの遅れを取り戻すべく、「高齢者の社会階層に関する理論と実証研究」というテーマについて研究を進めてゆきたいと思っております。よろしくお願い致します。（比較社会文化研究院）



野 望

ながとも やすゆき
長友 康行

5月1日付で、筑波大学数学系より九州大学大学院数理学研究院に赴任してまいりました。これまで学部学生、大学院生時代をも含めると私の在籍した大学としてこの九州大学は5つめということになります。以前の4つの大学はみな関東地方にあったのですが、話す言葉も違う(?)九州地方での生活に大きな期待をもっています。

専門は数学、そのなかでも微分幾何学といわれる分野とその周辺です。ただし微分幾何学といっても、大学により異なるニュアンスで受け取られることが多いようなので、最近ではゲージ理論が専門ですという機会のほうが増えています。とくに四元数構造をもった、数学内で多様体といわれる、いわば曲がった空間に興味があります。この「四元数」といわれるものは加減乗除ができる「数」ですが、われわれが普段つきあっているなじみの深い「実数」とは異なり、掛け算の順序を交換すると違う結果がでてくるという性質をもっています。「そんなもの数ではない」という立場もありましょうが、この四元数独特の性質がわれわれの住んでいる4次元空間に他の次元では考えることのできない、さまざまな性格を与えているということができません。

ところで「四元数」はどこからうまれたのでしょうか？ その全集内で、1843年に物理学者にして数学者という英国のハミルトンが発見したと記述されています。まさかこのためというわけでもないでしょうが、現在にいたる4次元幾何学の研究はオックスフォード学派により生み出され、広められ、さらに深化しつづけています。そのオックスフォードでは学生を含めた若い人々が諸先生、先輩たちと議論を重ね、これを学び、また全世界からこの幾何学を支持する学者が討論するために集っています。そして再びここで得られた成果をそれぞれの国に持ち帰るというわけです。まさに理想的な学問の流れといえましょう。このような「流れ」を九大で実現したいという野望は忘れないようにしようと思いつつ、学会のポスター作りにいそしめます。絶句。

（数理学研究院）



自己紹介

ふるむら ゆみこ
古村 由美子

4月1日付で言語文化研究院箱崎分室の助手として着任いたしました。着任直前の今年の3月まで比較社会文化研究科博士後期課程に在籍していました。専攻は異文化間コミュニケーションですが、特に英語教育の観点から研究しています。しかしながら現在研究中のテーマには、バイリンガリズムや対人関係論等も関連しており、これらの分野も含めてまだまだ勉強不足を痛感しているところです。

生まれも育ちも福岡で、見聞が狭いことを自覚しています。現状では居住地を変えるのは難しいので、せめて旅行等でいろいろな場所を訪れたいと思っています。今年2月には上海へ行ってきましたが、高層ビルが立ち並び、非常に大きな都市であることに大変驚きました。又、現地での外国語習得熱も高いようでした。上海人のガイドさんは日本へは一度も来たことがないということでしたが、日本語が堪能でさらに日本で何が流行しているかまでご存知なのには脱帽しました。

ここ箱崎分室には、様々な外国語の先生方や留学生の方たちがいらっしゃいます。その方々から学ぶことも多く、まるで毎日勉強しながら仕事をさせていただいている様な気分で、大変有難く感じています。又、文系、理系を問わず、たくさんの教職員、学生の方々が外国語を習得したいと強く感じていらっしゃることを実感しています。競争率が2倍程になる授業もあり、どうしても受講したいと私達に訴えられる方々もいらっしゃいました。分室にはLL個別学習室もあり、教材も用意していますので、是非活用していただきたいと思います。どうぞ、お気軽に事務所にもお立ち寄りください。
(言語文化研究院)



戻ってきました！

よこやま たくし
横山 拓史

【スタッフの皆様へ】

1995年3月大学院重点化に伴う人事異動で出身研究室（理学部化学科無機化学講座）へ移りました。六本松キャンパスは自主性を重んじる活気あふれるところであったので、再びピラミッド構造社会へ復帰することには不安を覚えました。しかし、教養部はすでに廃止になり、理学部所属になっていましたので場所が変わるだけであると自分に言い聞かせたのをいまでも思い出します。あれから6年たち、再び縁あって六本松キャンパスに戻ってこれました。居室1つに実験室1つの決して恵まれた研究環境ではありませんが、1989年4月に教養部に赴任したときのようなフレッシュな気持ちで、教育・研究をスタートさせたいと張り切っています。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

【学生の皆さんへ】

5月1日付で化学教室へ赴任しました横山です。前期は講義・実験を担当していないので教室で顔を合わせるのは後期からです。2号館207号室が私の住みかです。地球化学・環境化学の領域で仕事をしています。自然界で起こっている現象を化学の言葉で記述する学問です。興味のある活発な学生諸君と議論できればと願っています。
(理学研究院)

健さん 来たる！

因 京子

後のドアから入ってきたその人は、スクリーンで見るとよりずっと華奢だった。すらりと伸びた長身、なだらかに落ちる肩。こんなに細身の人だったのか。学生たちの質問に答えて話すその人は、思ったよりもずっと気さくだった。感激のあまり言葉に詰まる若者に「しっかり」と声をかけ、鶴のダンスの場面がよかったという感想には「苦手だったダンスを誉められて嬉しい」と喜んだ。いやあ、立ってるだけでも素敵ですよ。もちろん踊っても素敵ですけど。芸能人なのだから一般人より垢抜けているのは当たり前だとしても、これほど違うものか。「つらいことが多いですよ、この仕事は。失うものが多い。」…望んで俳優になったのではないと聞くこの人は、ここまでの道程で、何を失い、何を拒否してきたのだろうか。「ホタル」の主人公に瞬面影が重なる。「別れるのが惜しいと思うような人に、たくさん出会ってください。」…若さの頂点にいる者の耳にも、若さをほろ苦く思い出す者の胸にも、等しく沁みる言葉だった。

(留学生センター)

 クワガタムシやカブトムシの雄の大アゴや
ツノの役割とその進化……………荒谷 邦雄… 2

世界・日本 10

 人にやさしい村は地球にもやさしい
薄 俊也… 4
台湾少女漫画について……………王 愿琦… 8

サークル紹介 21

 What's KUBC?
高濱 良有・井手 未央…12
九州大学トライアスロン愛好会
松尾 亮平…13

CRJ 福岡での活動……………石橋 信二…14

教育方法改善の試み 3

 21世紀プログラムの挑戦……………16
アカデミックアドバイザー
ー物理学科1997年入学生の記録ー

 九州大学 TA 考……………鍋谷 照…20
新任教官自己紹介

 木村 好美・長友 康行…21
古村由美子・横山 拓史…22
あとがき……………24

投稿・写真歓迎

編集委員会では radix への投稿、紙面を飾る写真を募集しています。あなたに関わっている様々な活動。六本松地区や「全学教育」にまつわる出来事、六本松の思い出など、六本松や「全学教育」に関するものであれば何でも結構です。

写真も、キャンパスでのもの、旅先でのものをはじめ、あなたの作品、ぜひ紹介したい知り合いの作品など、広く募集しています。応募、推薦の対象は六本松や「全学教育」に関わりのある全ての方です。

radix 学生モニター募集

編集委員会では radix に対する学生の意見を広く聞くために、モニターを募集し、「学生モニター会議」を開きます。また学生編集委員も募集しています。学生の皆さん、多数ご応募ください。募集は常時行っています。

投稿、写真、モニターの応募は下記で受け付けます。

編集委員 熊谷 秋三 (健セ ☎7853)
成清 修 (理学 ☎4767)
山村ひろみ (言文 ☎4655)

企画掛 ☎4526 本館1階西側

小山 紘三 (大教セ ☎4585)
濱野 清志 (アドミッションセ ☎4805)
渡邊 正治 (事務部 ☎4506)

志水 俊広 (言文 ☎4697)
毛利 嘉孝 (比文 ☎4594)



健さん 来たる！

あ と が き

健さんこと高倉健が九州大学に来了。全学教育科目「社会と学問」の5月8日（火）の講義で、東映の高岩淡社長が講師として来校し、健さん主演の新作映画『ホテル』の上映とともに授業を行った時に飛び入りしたのである。健さんが映画監督の降旗康男や共演の小林稔侍とともに来校することは事前に知らされていなかったもので、会場は騒然となった。その様子は本号の因先生の熱い文章（23頁）からも想像してもらえらう。

大学のあり方が急激に変化している。大学の外で活躍している方々を講師に招いてリレー式で講義を行うこの「社会と学問」という科目は、そうした変化を端的に示している。これまで閉ざされた印象を与えてきた大学が積極的に社会と結びつくことは、これから一層重要な意義を持つてくるだろう。

その一方で感じたのが、社会の外と結び着くのは決して大学の教室だけではない、ということである。大学の教室は人を受動的にさせる。教室で学べることは限られている。刺激を受けたら、大学の外を覗いてみよう。高倉健を見てシビれた人は役者を目指したり、映画を撮り始めてもいいかもしれない。大切なことは、健さんをただ眺めるだけでなく、みんながそれぞれの持ち味を生かして自ら「健さん」になることである。（YM）

radix（ラーディクス） No.29 （九州大学全学教育広報）

発行日 2001年6月30日

発行所 九州大学大学教育研究センター

〒810-8560 福岡市中央区六本松4-2-1

電話 (092) 726-4525・4526（企画掛）

FAX (092) 726-4530